

製品名: TBC1D4 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82061**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	146.5kDa

抗原情報

遺伝子名	TBC1D4
別名	AS160; NIDDM5
遺伝子 ID	9882.0
SwissProt ID	O60343
免疫原	大腸菌で発現したヒト TBC1D4 (AA: 574-712) の精製された組み換え断片。

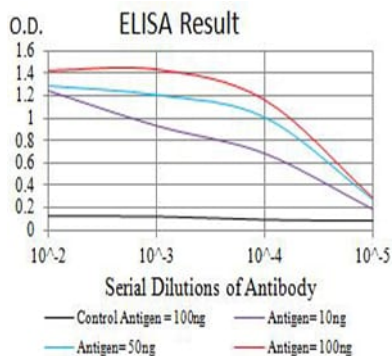
背景

この遺伝子は、Tre-2/BUB2/CDC16 ドメインファミリーのメンバーです。この遺伝子によってコードされるタンパク質は Rab-GTPase 活性化タンパク質であり、2つのリン酸化チロシン結合ドメイン（PTB1 と PTB2）、カルモジュリン結合ドメイン

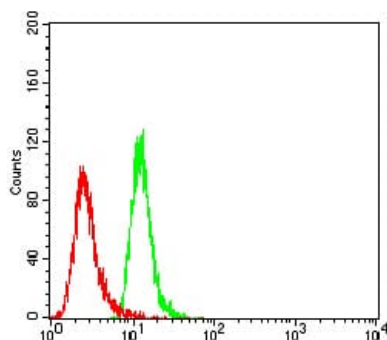
(CBD)、Rab-GTPase ドメイン、および複数の AKT リン酸化モチーフを含みます。このタンパク質は、血流から骨格筋や脂肪組織へのグルコースの輸送に重要なグルコーストランスポーター 4 (GLUT4) のインスリン依存性輸送を制御することで、グルコース恒常性維持に重要な役割を果たしていると考えられています。この遺伝子の発現が低下すると、細胞膜上の GLUT4 レベルが上昇するため、このタンパク質は基底状態における GLUT4 の細胞内保持に重要であることが示唆されます。インスリンに曝露されると、このタンパク質はリン酸化され、GLUT4 小胞から解離します。その結果、細胞表面における GLUT4 が増加し、グルコース輸送が促進されます。GLUT4 が細胞表面へ適切に移行するためには、AKT によるこのタンパク質のリン酸化が不可欠です。この遺伝子の変異をホモ接合で有する人は、2 型糖尿病のリスクが高く、ブドウ糖摂取後の血糖値とインスリン濃度が高くなります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生じます。

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



TBC1D4 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。